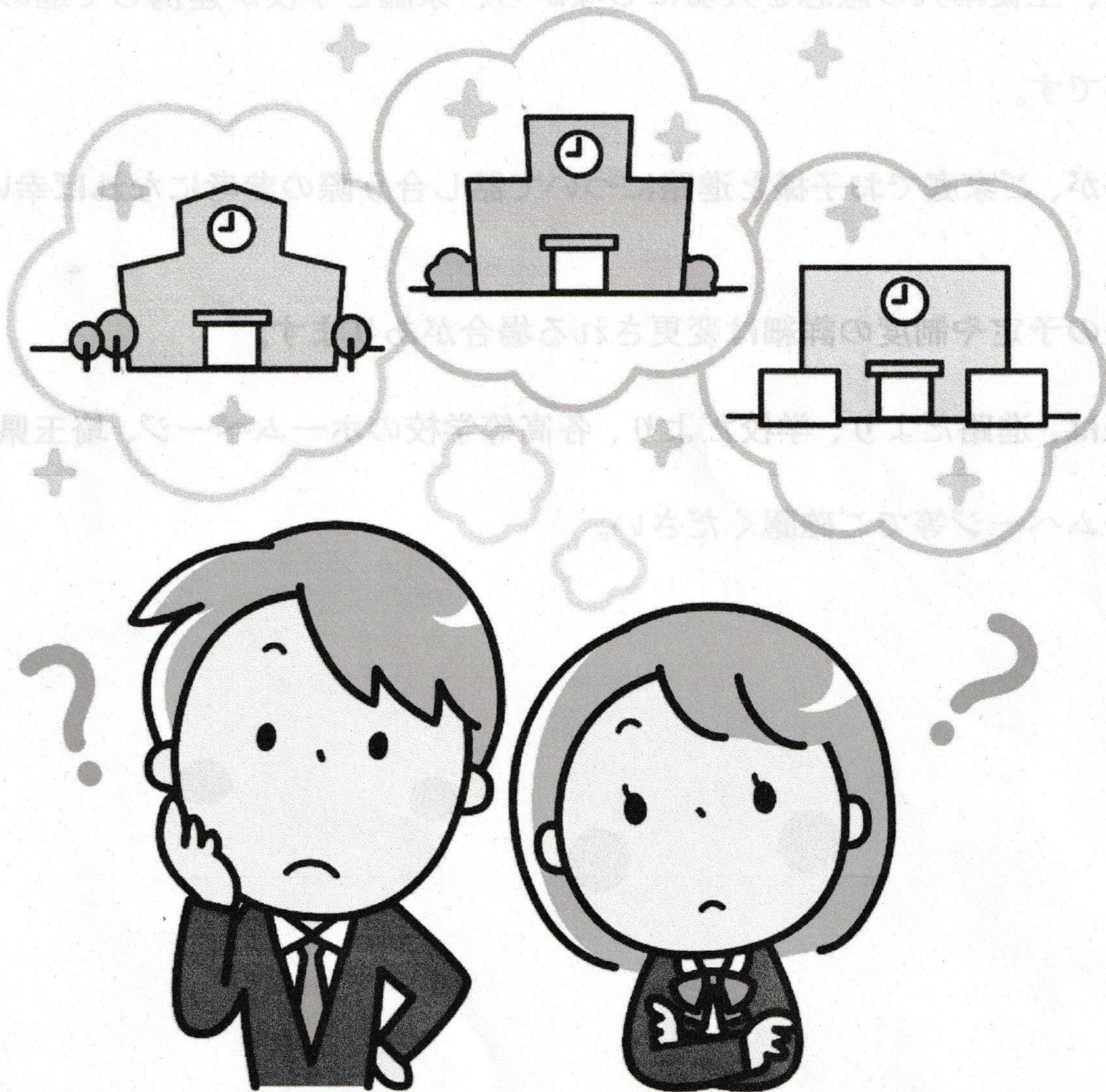


第1回

進路保護者会資料



令和 8 年 7 月 3 日 (金)

さいたま市立城北中学校 第3学年

() 組 () 番 名前 ()

【保護者の皆様へ】

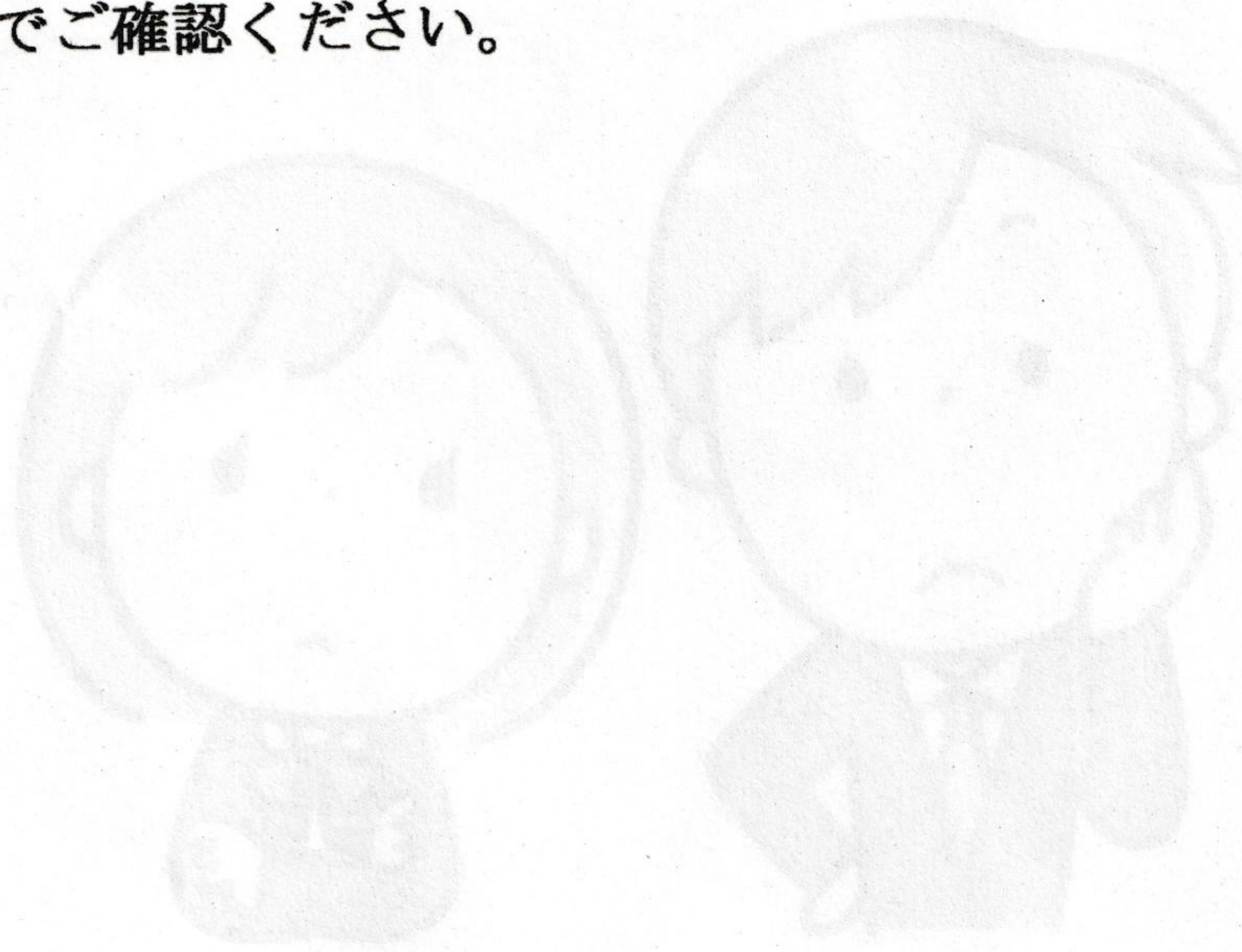
本資料は、第1回進路保護者会において、中学校卒業後の進路選択の考え方や、今後のおおまかな流れ、入試制度の概要についてご理解いただくために作成したものです。

進路選択は、生徒本人の意思を大切にしながら、家庭と学校が連携して進めていくことが重要です。

本日の資料が、ご家庭でお子様と進路について話し合う際の参考になれば幸いです。

なお、今後の予定や制度の詳細は変更される場合があります。

最新の情報は、進路だより、学校だより、各高等学校のホームページ、埼玉県教育委員会のホームページ等でご確認ください。



(金) 日 8 月 7 日 年 8 時 令

年 8 月 令 対 学 中 北 郡 立 市 志 木 市

() 前 8 番 () 部 ()

I 進路についての基本的な考え方

1 進路について

(1) 進路選択を成長の糧に ～夢や希望をもって～

進路選択は、お子様が自分自身の夢や希望を少しずつ具体化していくための大切な過程です。

中学校卒業後の進路を考える経験は、多くの生徒にとって、「自分の進路を自分で考え、自分で選ぶ」最初の大きな機会になります。

本校では、この進路選択の過程そのものを、生徒の成長につながる大切な学びと考えています。

第3学年となり、お子様の中には、次のような思いや悩みをもつ生徒も少なくありません。

- ・自分の夢や希望、進路の方向性がまだはっきりしていない
- ・自分の学力や力に自信がもてない
- ・本人の希望と保護者の希望の間にずれがある
- ・自分にどのようなことが向いているのか分からない
- ・将来どのような大人になりたいか、まだ十分に考えられていない

中学生の段階で、将来の職業や生き方を明確に見通すことは簡単ではありません。

しかし、自分の個性や興味・関心、得意なこと、課題などを見つめながら、おおまかな方向性を考えていくことはとても大切です。

本校では、生徒一人ひとりが自分の可能性を信じ、自分なりの進路を考え、夢や希望の実現に向けて努力できるよう支援していきます。

(2) 進路選択の考え方

進路の選択にあたっては、夢や希望を大切にしながらも、現実を見つめ、自分自身をよく理解したうえで判断していくことが大切です。

最終的には、進路は本人が自ら考え、納得して決めていく必要があります。

一方で、進学先や就職先について、「周囲に勧められたから」「何となく入れそうだから」「部活動ができればよいから」など、十分に考えが整理されないまま選択してしまうこともあります。

だからこそ、「卒業後にどのような生活を送りたいのか」「その学校や進路先で、自分らしく充実した生活を送ることができるか」という視点で、本人・保護者・学校で十分に話し合うことが大切です。

進路選択にあたっては、次のようなことを総合的に考えることが重要です。

また、進路選択を進めるにあたっては、

次の4つの視点が大切です。

◎自分について知る

(興味・性格・適性・能力・特技 など)

◎職業について調べる

(さまざまな職業の内容、必要な力、働き方 など)

◎上級学校について調べる

(教育課程、学科・コースの特色、
通学距離、学費、進路状況、試験科目 など)

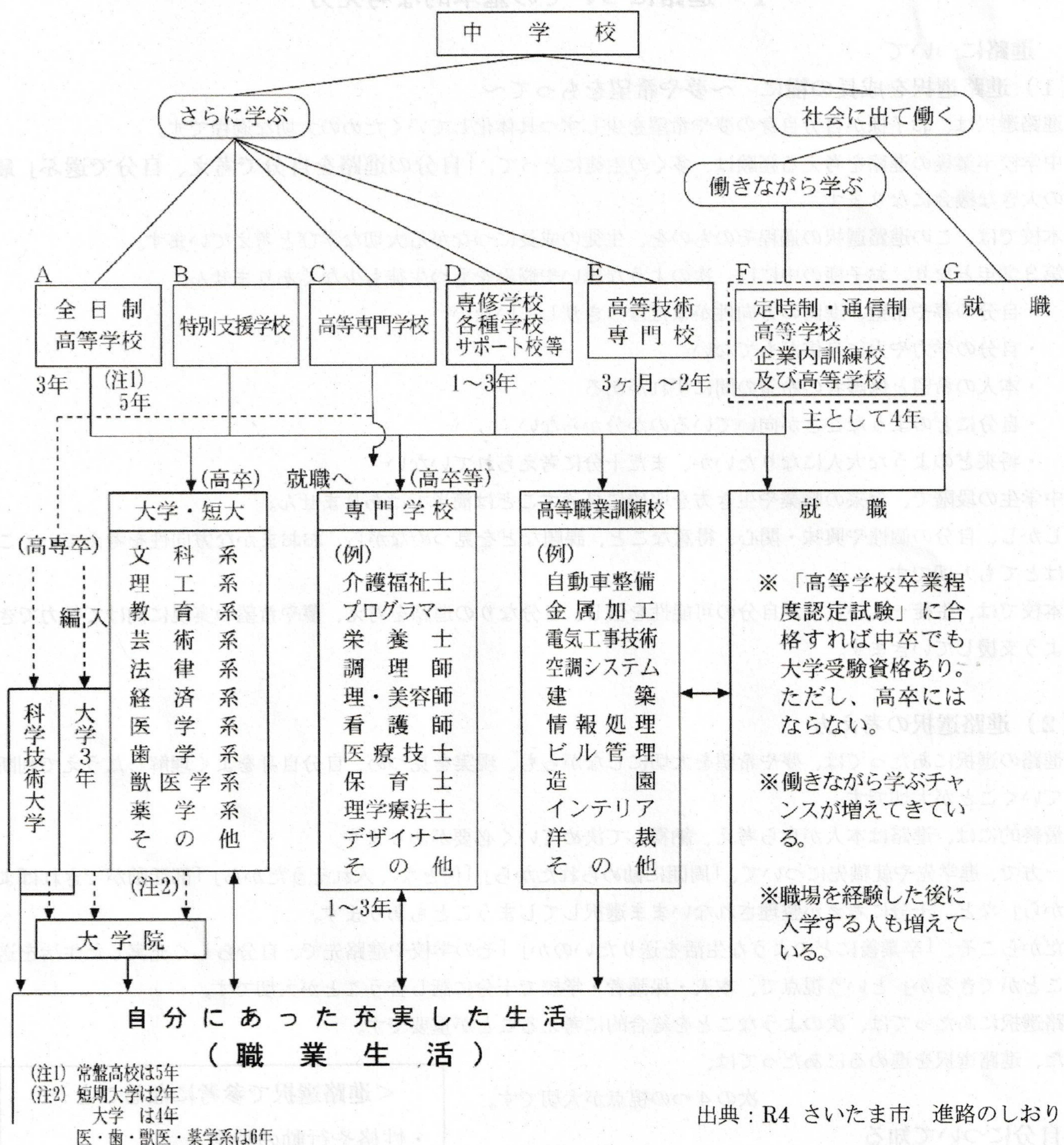
◎進路について相談する

(保護者、教師、先輩、友人 など)

<進路選択で参考になること>

- ・性格や行動の特徴
- ・適性や興味・関心
- ・体力や健康面
- ・職場見学や上級学校見学
- ・高等学校の先生方の話
- ・学校説明会や体験入学
- ・個別相談会や入試相談会
- ・テスト結果や学習状況
- ・三者面談などでの話し合い
- ・家庭での話し合い
- ・友人や先輩の話

2. 中学卒業後の進路選択



3. 進路先（志望校・職場）の決め方

進路先を考える際には、次のような点を参考にしながら、本人・家庭・学校で十分に話し合っていくことが大切です。

イ 志望校の情報を積極的に集める

- ・教育方針や特色
- ・施設や設備
- ・通学距離や通学時間、交通手段
- ・納入金などの諸経費
- ・卒業後の進路状況
- ・入試の難易度
- ・学校生活の様子や雰囲気・指導方針や特色

情報収集・調査研究

ア 本人・家庭について

◎自分を知る

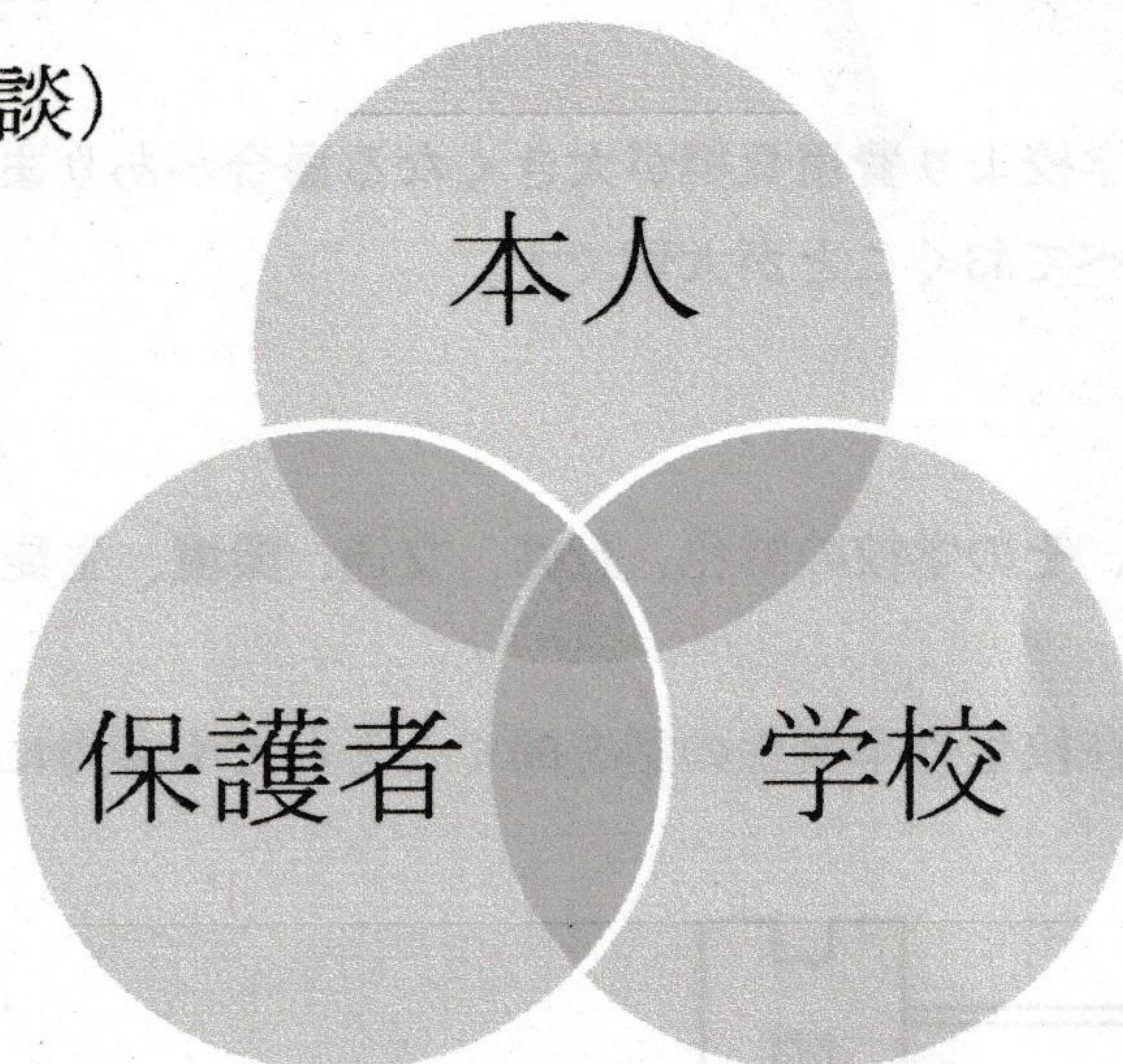
- ・自分の性格
- ・将来の希望
- ・興味や関心
- ・適性や能力
- ・健康面や体力面

◎保護者の意見や家庭の条件

ウ 職場の諸条件について

- ・仕事の内容や特色
- ・勤務地や通勤距離
- ・採用条件
- ・勤務条件
- ・将来性や職場の雰囲気・仕事の内容や特色

(進路相談)



情報を集め、比較し、相談を重ねながら、自分に合った進路を見つけていくことが大切です。

4. 進路先を決める上での注意 ——— 最終的な判断は本人がする ———

進路先は、これからお子様が生活し、学び、成長していく大切な場です。

そのため、資料やパンフレットを見るだけでなく、学校説明会や体験入学、見学会等に参加して、自分の目で確かめることが大切です。本人が十分に納得したうえで進路先を決められるよう、家庭と学校とで支えていきたいと考えています。

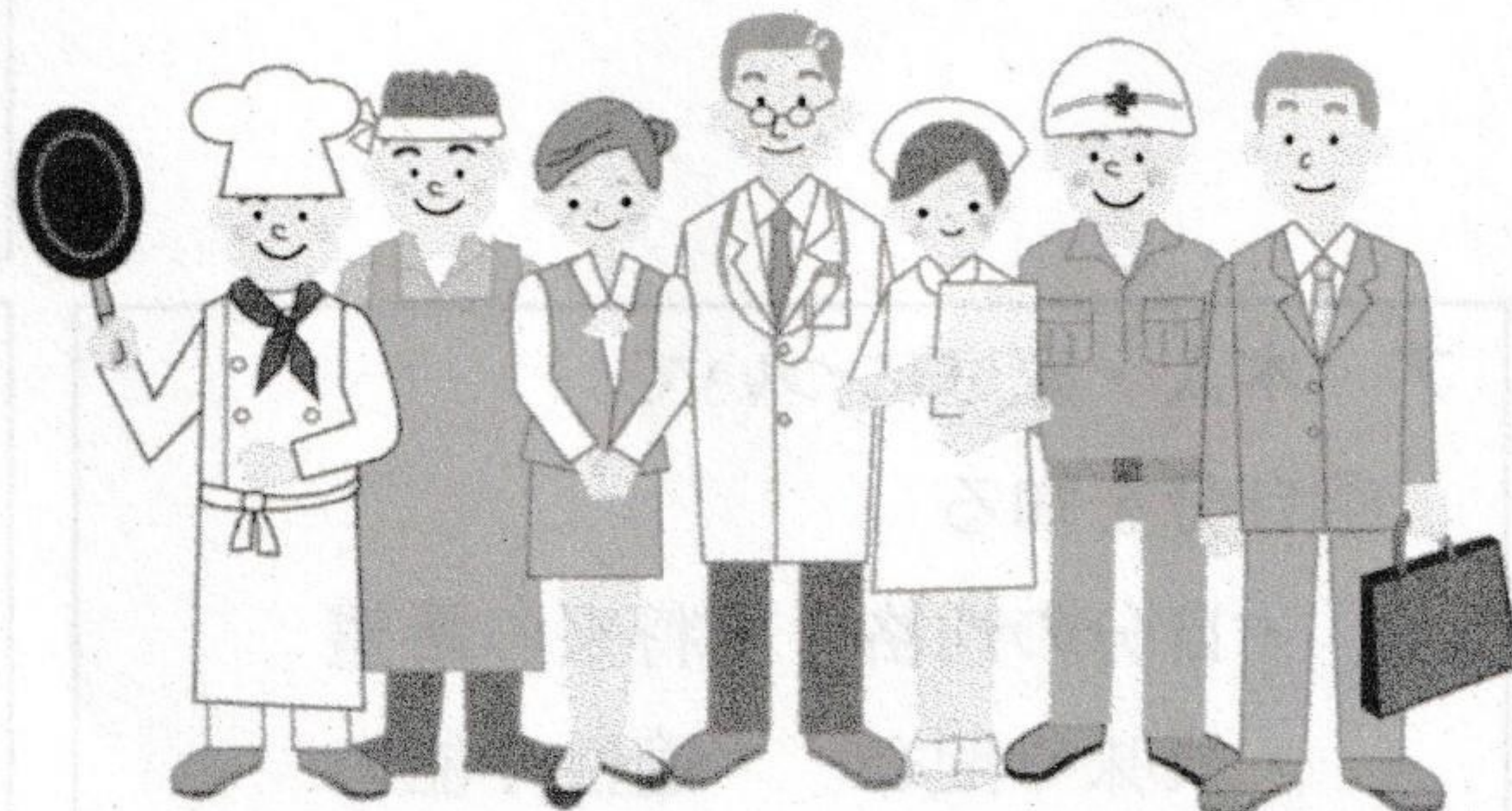
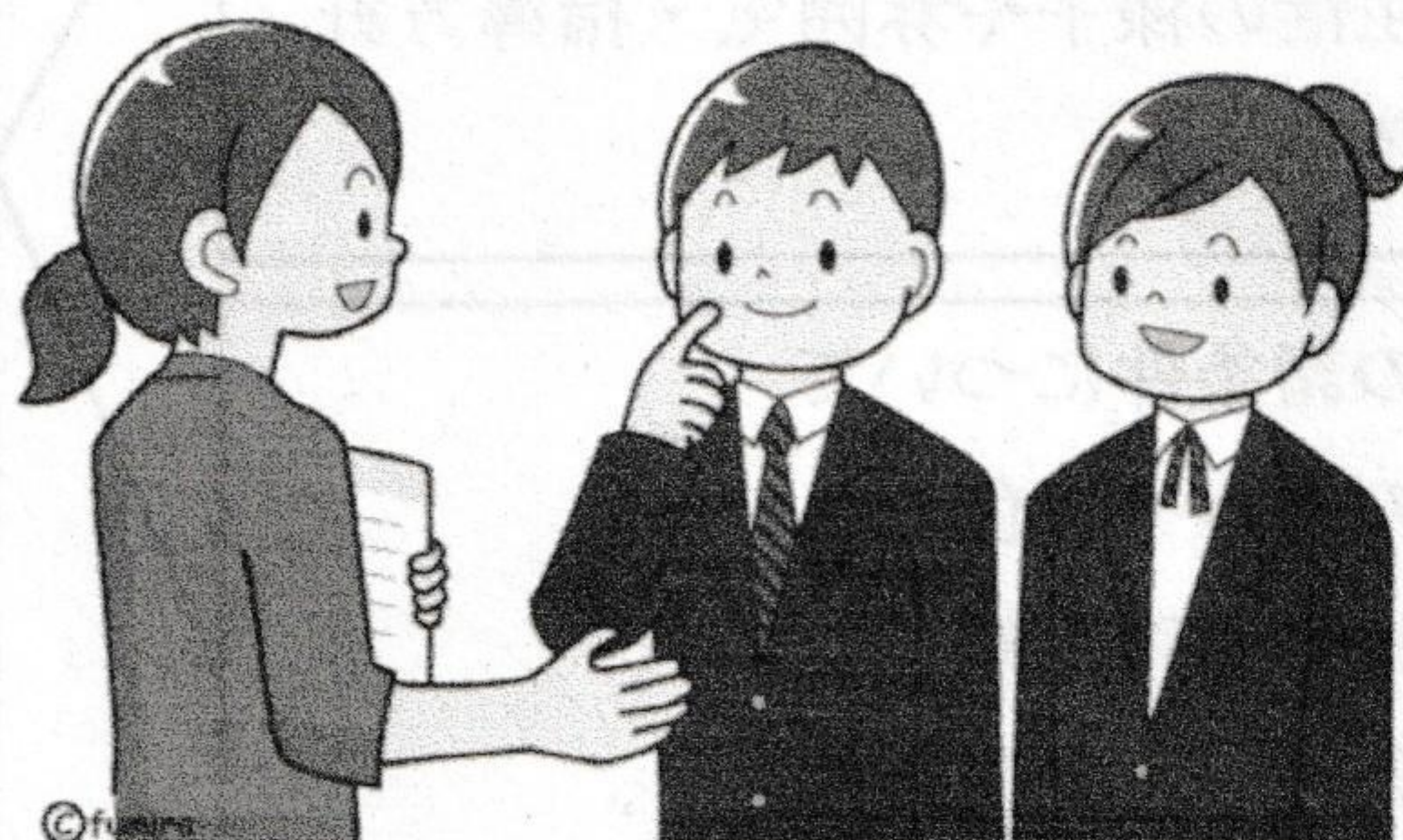
5. 高等学校選択で重要なことは ———— 選び方 ————

(1) 将来の希望と適性を十分に考える

高等学校には、それぞれ教育内容や学科・コースの特色があります。

どの学校を選ぶかによって、その後の学び方や進路の方向が変わることもあります。

将来どのようなことに取り組みたいか、どのような進路につなげたいかをよく考え、保護者や学校と相談しながら、お子様に合った学校を選ぶことが大切です。



(2) 通学時間や通学方法を考える

通学は3年間（以上）続くものです。体力や健康面も含めて、無理なく通学できるかどうかを考えることも重要です。

(3) 家庭の経済面も考える

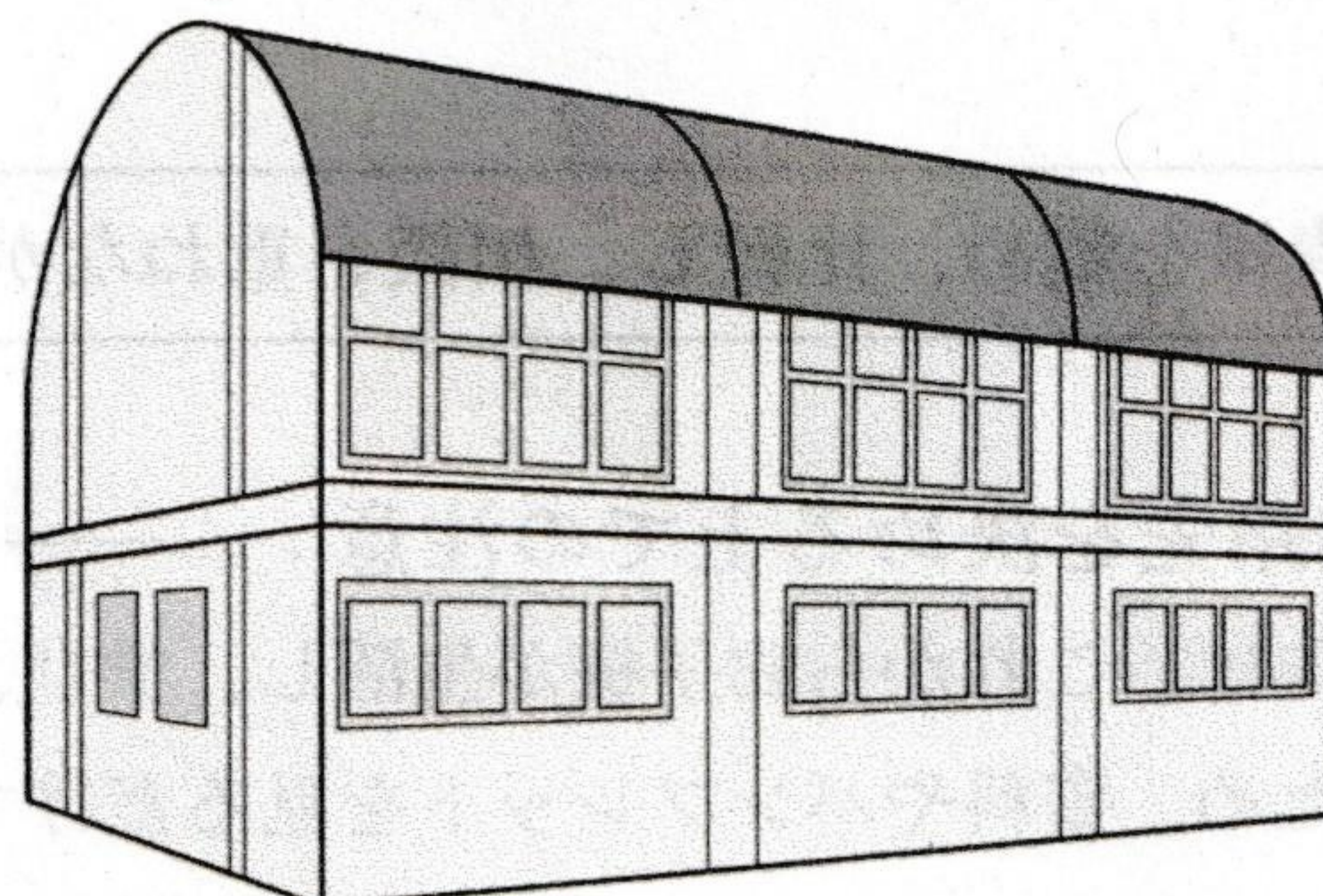
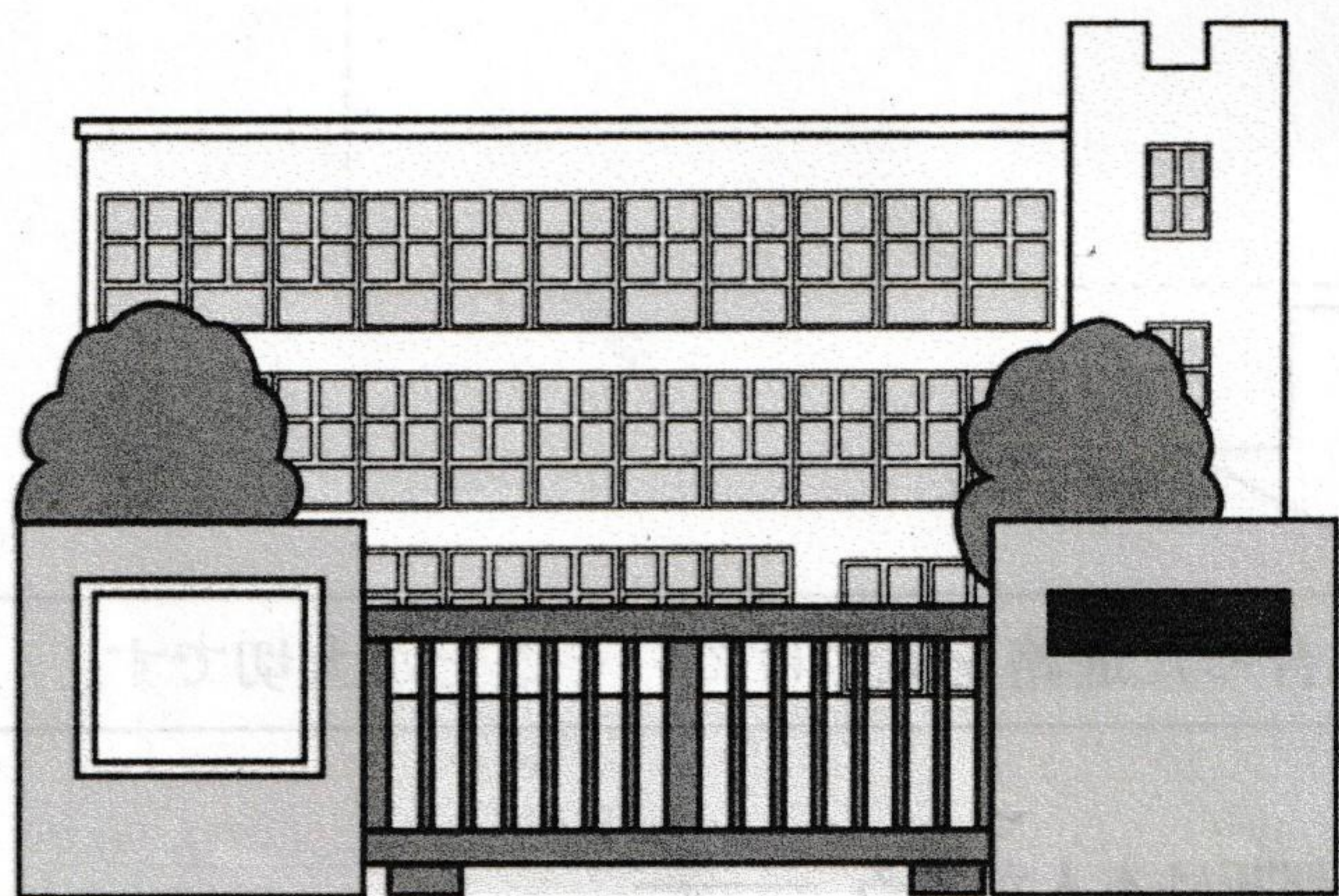
高等学校は義務教育ではないため、授業料のほかにも、入学時納入金、教材費、制服代、修学旅行費、通学費など、さまざまな費用がかかります。

特に私立高等学校では、公立高等学校より費用負担が大きくなる場合があります。ご家庭でよく確認し、必要に応じて奨学金制度等についても調べておくことが大切です。

(4) 志望校をよく調べる

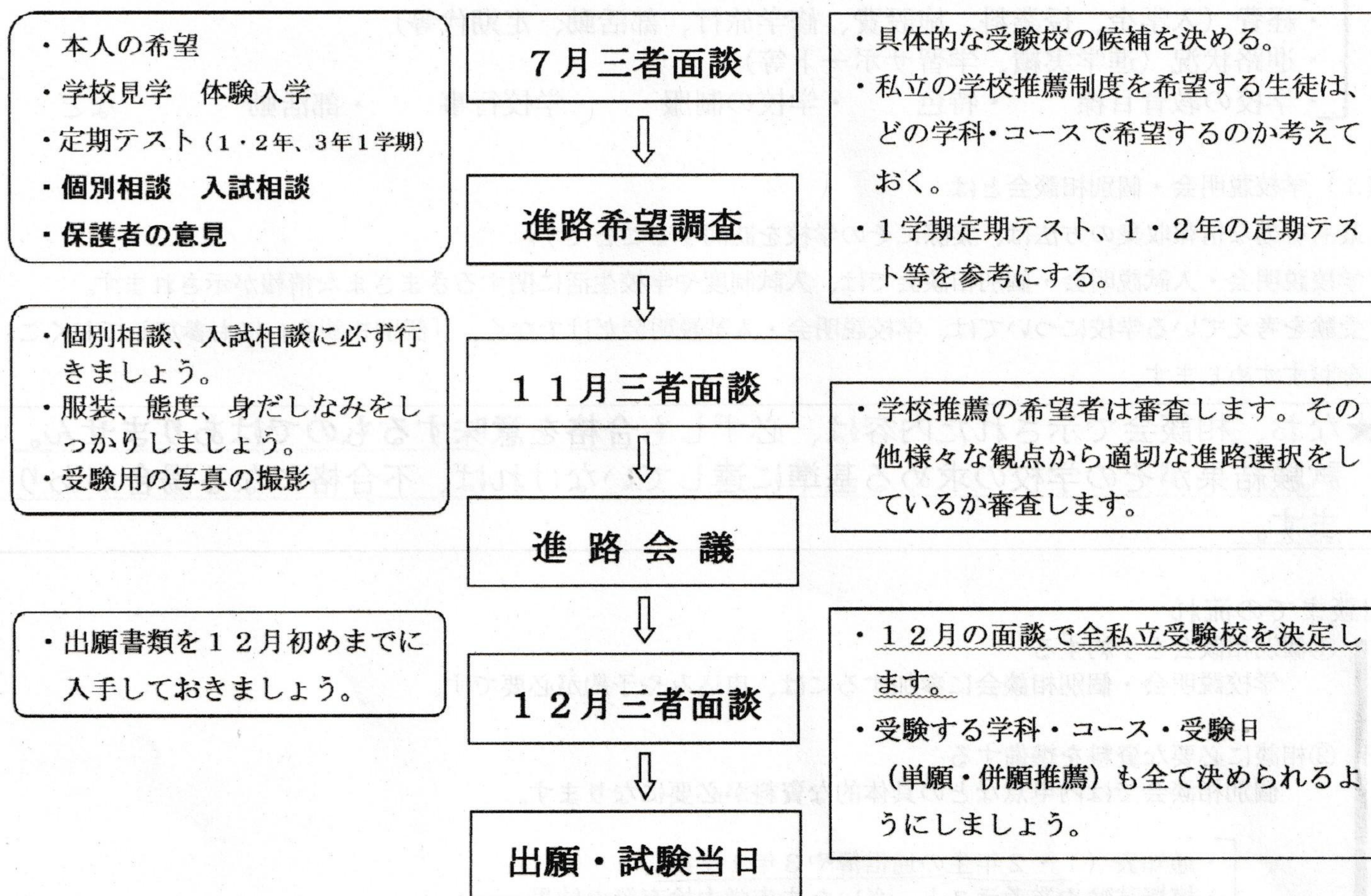
志望校がある程度しぼれてきたら、その学校の特色、設備、交通、環境、生徒の様子などについて、改めて丁寧に調べましょう。

学校説明会や体験入学への参加、在校生や卒業生の話を聞くことなども参考になります。



Ⅱ 具体的に進路を決める手順（私立高校）

1 私立高校出願までの流れ



2 私立高校を受験するにあたっての留意点

◎ 私立高等学校の受験に関する手続きは、基本的に家庭で進めていただくことが多くなります。

- ・ 願書の手配 ⇒ 家庭
- ・ 出願書類の作成 ⇒ 家庭
- ・ 調査書の作成 ⇒ 学校（調査書作成願の提出が必須）
- ・ 推薦書等 ⇒ 家庭が準備し学校が作成
- ・ 出願 ⇒ 家庭

※現在は、インターネット出願が主流となっています。

各学校の募集要項をよく読み、説明会での説明内容を確認したうえで、間違いのないよう進めてください。
トラブルが発生した場合は、必ず担任へご相談ください。

私立高等学校は、建学の精神や教育方針、コース設定などにより、学校ごとの特色が大きく異なります。

例1 職業訓練を教育方針にしている場合 → 工業や商業など専門課程を設置する学校

例2 大学進学を目指している場合

→ 進学・受験に力を入れたコース設定を重視した学校

例3 国際化に力を入れた学校など

たとえ併願であっても、その学校へ進学する可能性があることを前提に、十分な情報収集を行うことが大切です。

3 情報を収集する際のポイント

私立高等学校について調べる際には、次のような点を確認しておくことが参考になります。

- ・ 学校の場所と行き方（通学方法と通学時間 悪天候の場合も含む）
- ・ 経費（入学金、授業料、施設費、修学旅行、部活動、定期代等）
- ・ 進路状況（進学実績、学習サポート等）
- ・ 学校の教育目標 ・ 特色 ・ 学校の制服 ・ 学校行事 ・ 部活動 など

(1) 学校説明会・個別相談会とは

最も有効な情報収集の方法は、実際にその学校を訪問することです。

学校説明会・入試説明会・個別相談会では、入試制度や学校生活に関するさまざまな情報が示されます。

受験を考えている学校については、学校説明会・入試説明会だけでなく、「個別相談会」にも参加しておくことをおすすめします。

★なお、相談会で示された内容は、必ずしも合格を意味するものではありません。
試験結果がその学校の求める基準に達していなければ、不合格になる場合があります。

相談までの流れ

①個別相談会を予約する

学校説明会・個別相談会に参加するには、申込みや予約が必要です。

②相談に必要な資料を準備する

個別相談会では内申点などの具体的な資料が必要になります。

- ・ 通知表（1・2年生の通信簿や3年1学期）、
- ・ 模擬試験や業者テスト、さいたま市学力検査等の結果
- ・ 取得資格の証明書
- ・ 学校外での活動実績が分かる資料

③具体的な相談をする

学校によっては、かなり具体的な見通しが示される場合があります。

その際には…

「ほかの学校も受験しておく必要がありますか？」

「試験結果によって不合格となる可能性はありますか？」

など、具体的な確認をしておくことも大切です。

※通知表については、1・2年生分と3年1学期分をコピーして保管しておくことをおすすめします。

(2) 進学フェア・合同説明会を利用する

① 彩の国進学フェア2026（事前予約制）

日付：7月11日（土）12（日） 予約開始 6月11日（木）

会場：大宮ソニックシティ（入場無料・事前予約制）

② 埼玉私学フェア2026（予約不要、入退場自由）

・ 熊谷展 7月25日（土）26日（日） 会場：キングアンバサダーホテル熊谷3F

・ 川越展 8月8日（土）、9日（日） 会場：ウェスタ川越1F 多目的ホール他

・ 大宮展 8月29日（土）、30日（日） 会場：ソニックシティビルB1F 第1～5展示場他

※ 詳細は、必ず主催者・各学校のホームページで最新情報をご確認ください。

4 入試の形態について

私立高等学校では、個別相談会等を通して、学校側が推薦基準を満たしていると判断した場合、推薦入試を受験できることがあります。

推薦制度の有無や条件は学校によって異なるため、必ず各学校の募集要項や説明会で確認してください。

(1) 推薦入試とは

個別相談会等で推薦を許可された者が受験できる入試様式で、主に3種類あります。

- ・学校推薦 … 中学校長の推薦により受験するもの（校長が推薦し、学校が推薦書を作成）
- ・自己推薦 … 本人が自分のことを記して受験するもの（自分で推薦書を作成）
- ・保護者推薦 … 保護者が推薦書を作成するもの（保護者が推薦書を作成）

また、推薦入試の利用形態として、主に次の2つがあります。

①単願推薦

- ・その学校のみを受験し、合格した場合は必ず入学する
- ・第1志望として受験する生徒が対象となることが多いその私立高校のみ受験。合格したら、入学手続きをすぐに行い必ず入学する。

②併願推薦

- ・第1志望が公立高等学校や他の私立高等学校であっても、一定の条件を満たせば受験できる場合がある
- ・第1志望の結果を見て、進学先を決定できる
- ・単願推薦より基準が高く設定されていることが多い
- ・合格後、延納手続きが必要となる学校がある

※延納手続きを行わないと、入学の意思がないと判断される場合があります。募集要項をよく確認してください。

(2) 一般入試とは

一般入試は、推薦制度を利用しない場合に受験することが多い入試方法です。

誰でも出願して受験できる一方で、点数の結果が合否に大きく影響することが多く、学校によっては推薦入試より募集人数が少ない場合もあります。誰でも出願し受験することができる入試様式です。

5 指定校推薦について

私立高等学校によっては、中学校に対して「指定校推薦」の案内がある場合があります。

2校のみ

指定校推薦は、高等学校が中学校を指定し、推薦基準を満たす生徒について推薦の対象とする制度です。指定校推薦を希望する場合には、各高等学校が示す基準を満たしていることが必要です。あわせて、中学校での学習状況、出欠席の状況、学校生活への取組、授業態度、提出物、生活面の状況等を総合的に確認し、校内で推薦の可否を検討します。

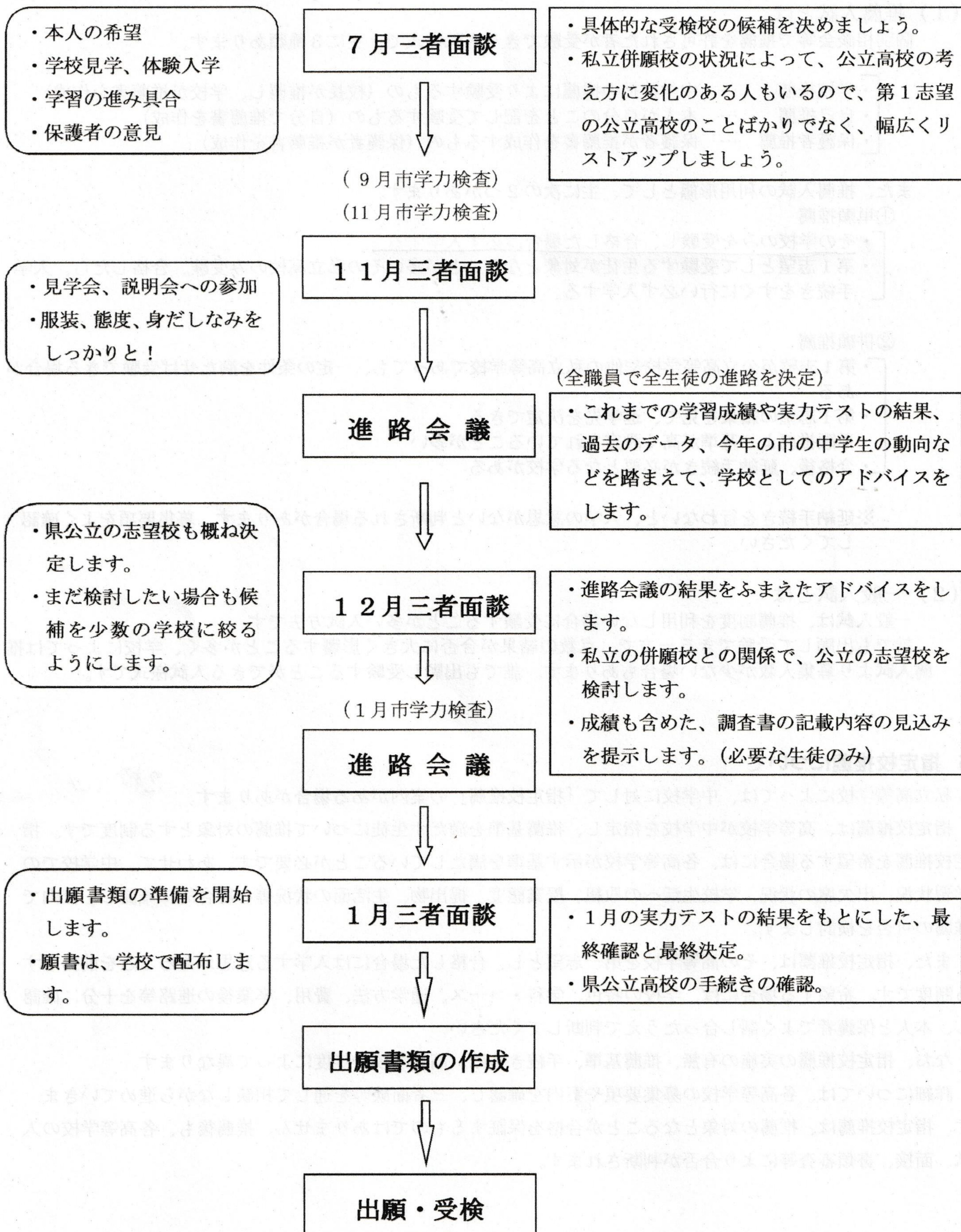
また、指定校推薦は、その高等学校を第一志望とし、合格した場合には入学する意思があることを前提とする制度です。希望する場合には、学校の特色、学科・コース、通学方法、費用、卒業後の進路等を十分に確認し、本人と保護者でよく話し合ったうえで判断してください。

なお、指定校推薦の実施の有無、推薦基準、手続き等は、高等学校や年度によって異なります。

詳細については、各高等学校の募集要項や案内を確認し、三者面談等を通して相談しながら進めていきます。指定校推薦は、推薦の対象となることが合格を保証するものではありません。推薦後も、各高等学校の入試、面接、書類審査等により合否が判断されます。

Ⅲ 具体的に進路を決める手順（県公立高校）

1 県公立高校出願までの流れ



2 県公立高校を受検するにあたっての留意点

◎ 公立高等学校の受検については、学校と家庭が協力して進めていくことになります。

- ・ 出願書類の作成 ⇒ 家庭
- ・ 調査書の作成 ⇒ 学校（調査書作成願の提出が必須）
- ・ 受験票の印刷 ⇒ 家庭

※現在インターネットによる出願が主流です。

募集要項をよく読み、各高等学校の説明会等でも確認しながら、手続きを進めてください。

不明点やトラブルが生じた場合は、早めに担任へご相談ください。

① 県公立入試は「入学試験」でなく「学力検査」

県公立高校の入試は、入学試験でなく学力検査と呼ばれています。したがって、「験」ではなく「受検」と表記します。選抜するための試験ではなく、進学できる学力あるかどうかの検査なのです。したがって、中学校の授業で身に付くはずのこと、身に付けておくべきことが出題されます。

② 原則として第一志望として受検

公立高等学校は、原則として第一志望校として受検します。

したがって、合格した場合は、その学校へ進学することが前提になります。出願後に私立高等学校へ進学することを決めた場合には、所定の手続きにより志願を取り消す必要があります。

3 県公立高等学校の選抜方法について

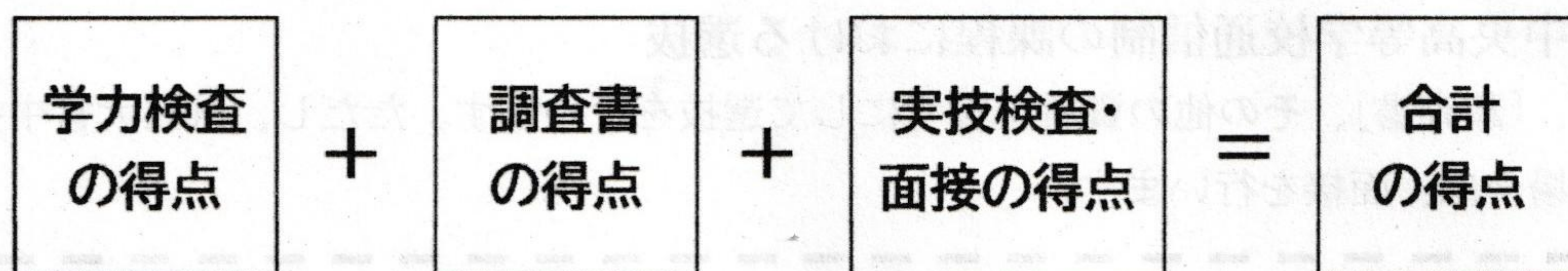
埼玉県公立高等学校入学者選抜では、令和9年度入試から制度の変更があります。

埼玉県教育委員会が公表している実施要項・選抜要領や、各高等学校の選抜実施内容を確認することが大切です。全日制・定時制ともに、1回のみの募集になります。

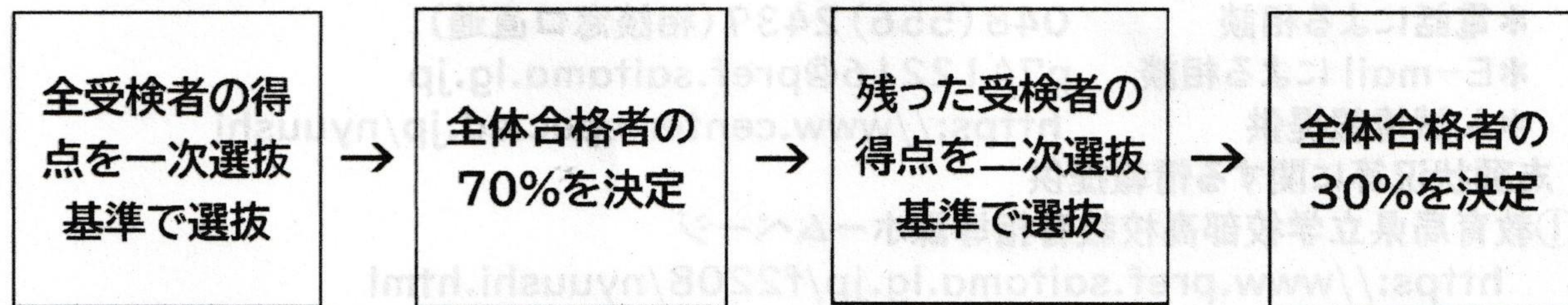
(1) 一般募集の選抜

(内申書)

学力検査の得点、調査書及び実技検査（または、面接）の得点に各学校で定めた係数を乗じて得られる得点の合計に基づいて合計得点の高い者から順に選抜します。



選抜に第1次選抜及び第2次選抜という段階を設け、選抜段階ごとにそれぞれの得点の重みのつけ方に差を設ける場合があります。（学力検査の得点及び調査書の学習の記録以外の資料で選抜する第3次選抜を設ける場合があります。） ※以下は例です



※ 調査書の配点は各校によって違います。

- ・ 1年、2年、3年の学習の成績を <1 : 1 : 1> <1 : 2 : 3> <1 : 1 : 3>など学校独自の 방법으로比例配分する。

(2) 公立高等学校における選抜基準について

① 学力検査

国語・数学・社会・理科・英語の5教科を、原則として全ての志願者が受検します。英語にはリスニングを含みます。高等学校によっては、学校選択問題や傾斜配点を実施する場合があります。

② 面接（今年度よりすべての県立高等学校で実施）

令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜では、全受検生に面接が実施されます。

面接は、個人面接または集団面接で行われます。

これまでの経験を振り返り、力を注いだことや努力したこと、高等学校入学後や将来取り組みたいことなどについて、自分の言葉で表現することが求められます。

③ 特色検査

学科やコースの特色に応じて、実技検査や作文（小論文）などが実施される場合があります。

実施の有無や内容は学校ごとに異なります。

埼玉県教育委員会HP内（6月11日に掲載済）

「令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜実施内容（確定版）」に掲載されています。

※ 学力検査と調査書、面接の配点は学校によって異なります。そのため、合計点も各校によって異なります。各校の選抜要項を見ておくことが必要です。事前によく調べておきましょう。

(3) 特別な選抜

「不登校の生徒などを対象にした特別な選抜」「帰国生徒特別選抜による募集」「外国人特別選抜による募集」等、特別な選抜も実施されます。

(4) 欠員補充

入学許可候補者の数が募集人員に満たない場合に、当該高等学校長は、令和9年3月16日（火）から令和9年4月までに欠員の補充を行います。その際、令和9年3月5日（金）午後2時に県庁及び各教育事務所に公示します。公示の内容（欠員補充実施校、募集人員）は、埼玉県教育委員会のHPにも掲載されます。

(5) 県立大宮中央高等学校通信制の課程における選抜

原則として、「調査書」、その他の資料を参考にして選抜を行います。ただし、県立大宮中央高等学校長が必要と認める場合は、面接を行います。

令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報は、埼玉県教育委員会ホームページに掲載されています。また、各高等学校の選抜実施内容（確定版）も公表されています。志望校を考える際には、必ず公式資料をご確認ください。

○ 入試相談

埼玉県立総合教育センター入試相談窓口

＊電話による相談 048(556)2439(相談窓口直通)

＊E-mailによる相談 p7412216@pref.saitama.lg.jp

＊入試情報提供 <https://www.center.spec.ed.jp/nyuushi>

○ 志願状況等に関する情報提供

① 教育局県立学校部高校教育指導課ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyuushi.html>

② 彩の国さいたま公立高校ナビゲーションへのアクセス

＊パソコンによるアクセス <http://www.navi.spec.ed.jp/>

＊携帯電話等によるアクセス <http://www.navi.spec.ed.jp/m/>

資料 1

令和 9 年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の概要

1 主な変更点及び概要

(1) 入学者選抜日程等について

令和 7 年 5 月 22 日付け教高指第 190 号にて関係教育機関に通知済み

日程	1月26日(火)～2月9日(火)	出願期間
	2月12日(金)	出願書類を郵送する場合の配達指定日
	2月15日(月)、16日(火)	出願書類等の提出期間
	2月17日(水)、18日(木)	志願先変更期間
	2月25日(木)	学力検査
	2月26日(金)	面接(全ての学校)
	3月 1日(月)	特色検査(一部の学校)
		※2月26日に実施する場合もある
	3月 2日(火)	追検査
	3月 5日(金)	入学許可候補者発表

※「成績及び諸活動等の記録通知書」は、令和 9 年 2 月 1 日(月)までに志願者の保護者に通知

(2) 募集に関すること、名称に関することなど

特になし

(3) 新制度入試について

ア 調査書の様式変更と自己評価資料の提出

○調査書の記載項目

- ・「各教科の学習の記録」(9教科5段階)、「総合的な学習の時間の記録」

○自己評価資料の提出

- ・全受検生が作成。面接での参考とする

イ 面接

○個人面接又は集団面接により、自己評価資料を参考とし、実施する

- ・「My Voice」(1分30秒～2分程度)→質問・応答(3分30秒～6分程度)

ウ 選抜の特色化

<共通選抜>…県が定める方法により得点を算出し、選抜する

○学力検査

- ・1教科100点(国数社理英)、合計500点満点

○調査書

- ・各学年の学習点の合計(9教科×5段階評価=45点満点)の比率を次の①～③から選択し、基本点とする

①1:1:1(135点) ②1:1:2(180点) ③1:1:3(225点)

- ・基本点を次の①～③から選択した得点に換算する

①200点 ②300点 ③400点

○面接

- ・基本点(30点)を、①1倍(30点満点)又は②2倍(60点満点)する。

※(例)調査書の各学年の学習点の合計の比率を①1:1:1として、調査書の点を①200点、面接の得点①1倍を選択すると、500(学力検査)+200(調査書)+面接=730点(合計)

＜特色選抜＞

○学力検査（1教科150点又は200点、3教科までの傾斜配点可）・調査書・面接について、学科、コース等の特色に応じて各高等学校が定める

○特色検査（実技検査・作文（小論文））を実施する場合は、上述の得点に加えて資料とする。

○特色検査を実施しない場合は、共通選抜の得点の算出方法と異なる取扱いとする。

※（例）数学・英語を200点へ傾斜配点、調査書の各学年の学習点の合計を1:2:2（225満点）として、調査書の得点を450点に換算、面接の得点を4倍すると、700（学力検査）+450（調査書）+120点（面接）=1,270点（合計）

＜その他＞

選抜を共通選抜のみで実施するか、特色選抜のみ実施するか、共通選抜と特色選抜の両方を組み合わせて実施するかは、各高校が決定する

エ 選抜の手順及び各選抜における入学許可候補者数の割合

○共通選抜及び特色選抜の両方を実施する場合

・特色選抜→共通選抜の順に実施

※入学許可候補者の人数割合

特色選抜は募集人員の20～80%（10%刻み）

共通選抜は残りの100%

○共通選抜のみ又は特色選抜のみを実施する場合

・第1次選抜、第2次選抜を設定

・第1次選抜、第2次選抜では、得点の取扱いに差を設ける

※入学許可候補者の人数割合

第1次選抜は募集人員の60～80%（10%刻み）

第2次選抜は残りの100%

オ その他

○追検査

・面接、特色検査は実施しない。

※不登校の生徒などを対象とした特別な選抜、帰国生徒特別選抜による募集、外国人特別選抜による募集及び定時制の課程における特別募集では、面接を実施する。

○学力検査問題

・学力検査・追検査において解答方法にマークシート方式を導入する（※学校選択問題含む）

※各教科での出題形式の割合は、得点に換算して、マークシート方式の問題が9割程度、記述式の問題が1割程度とする

・出題の基本方針等は、原則、現行どおりとする予定（令和8年5月公表予定）

・国語の作文は実施しない

・英語のリスニングは、実施予定

自己評價資料

志願先 高等学校	立 高等学校	学科等	科・系・コース (部)
ふりがな 志願者氏名		出身校	立 中学校

これまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力をしたこと、高等学校入学後や将来取り組んでみたいこと、自己PRなどについて、自分の考えを書いてください。

(立市：市○) 対高立公内				
東市前	合鎮開平会相	北土	台の鎮北土	南市
中央宮大	千足一平市前	西市前	業商賜岸	業商
谷々割	裡鎮知宮大	南宮大	東宮大	業商宮
町割	通入	東宮口香	業工服月香	度日
階割田並	町北	南対合鎮谷通	西谷割	山割
真也	南	鎮割田町	鎮常	業割町
	分宮	町割	山割	割町
	立市口川○	割町立市○	北宮大立市○	南市前立市○
(市宮対一水セ・弱縣補補販) 対高立球内				
知開宮大	民殖	町割市前	國平業実所前	知学前
松平山	割割町	東割町	北宮口香	

2 学校独自项目

[illegible]

IV 参考資料

1 令和7年度 受験校一覧（本校実績）

これまでの進路指導を振り返ると、二つの「じりつ」が大切であると考えています。

一つ目は、自分で考え、行動する「自立」です。

義務教育の終わりは、社会へ向かう第一歩でもあります。

将来に目を向け、自分がどのような社会人・大人になりたいのかを考え、自分の進路を自分で選択し、実現していくことが大切です。

二つ目は、自分を整え、支える「自律」です。

高校入試は、多くの生徒にとって初めての大きな進路選択です。

不安や悩み、緊張を感じることもありますが、その中でも自分と向き合い、心のバランスを保ちながら生活していくことが求められます。

入試というと、可否の結果だけに目が向きがちです。

しかし、そこに至るまでにどのような生活を送り、どのように努力し、どのように成長してきたかという過程こそが大切です。ご家庭でも、お子様が自分らしい進路選択に向けて前向きに取り組めるよう、温かく支えていただければと思います。

県内公立高校（○印：市立）

上尾南	上尾鷹の台	上尾	伊奈学園総合	いずみ
岩槻	岩槻商業	浦和西	浦和第一女子	浦和東
大宮商業	大宮東	大宮南	大宮武蔵野	大宮中央
春日部	春日部工業	春日部東	久喜	越ヶ谷
越谷北	越谷西	越谷総合技術	庄和	杉戸
杉戸農業	常盤	戸田翔陽	南稜	蓮田松韻
不動岡	松山	松伏	宮代	与野
○市立浦和南	○市立大宮北	○市立川越	○川口市立	

県内私立高校（通信制課程・サポート校含む）

浦和学院	浦和実業学園	浦和麗明	叡明	大宮開成
開智	春日部共栄	川越東	国際学院	埼玉栄
栄北	栄東	秀明栄光	淑徳与野	昌平
城北埼玉	西武台	獨協埼玉	花咲徳栄	武南
EIKOデジタルクリエイティブ	クラーク記念国際	飛鳥未来きずな	日々輝学園	松栄学園
松美学園	屋久島おおぞら			

国立・高専・県外私立高校（通信制課程・サポート校含む）

岩倉	品川学芸	西武台千葉	中央国際	日大豊山
日大豊山女子	国学院栃木	国際共立学園	鹿島学園	S
ヴィーナスアカデミー				

2 高等学校選びを考えるための参考資料

※ 昨年度の授業で使用したワークシートです。ご家庭でもお子さんとの「進路」について、話す1つのきっかけ・ネタとしてご活用いただければと幸いに存じます。

令和7年度 2学年 総合的な学習 ワークシート

上級学校調べ（主に高等学校についての学習）
～自分の将来・生き方を題材に学習しよう!!～

高等学校選びの条件 ～さて、あなたの優先順位は…？～

これから中学校卒業後の進路（進学先の高等学校など）を選択していくとき、どんな条件を優先して考えていきますか。また、その条件を優先する理由はなんですか。

自分の進路は自分で決めなければなりません。自分の進路選択について真剣に考えてみましょう。

- 1 以下の条件について、まず、自分なりに順位付けをしてみましょう。
- 2 次に、班で意見を出し合ってその順位を改めて見直してみましょう。

記号	条件	私の順位	班の順位	私の理由
A	高校に入学できる 学力かどうか			
B	授業内容はどうか			
C	学校行事はどうか （体育祭や文化祭）			
D	部活動はどうか			
E	学校内の設備はどうか			
F	行きやすさや通学手段 はどうか			
G	入学金や授業料はどうか			
H	卒業後の進路や 大学指定校はどうか			
I	制服等の学校指定用品 はどうか			
J	修学旅行等の校外学習の 行き先はどうか			

- 3 進路先を検討していくときの自分の考えをまとめてみよう。また、進路で不安に思うこと・悩むことを書いてみよう。

3 今後の進路関係の日程

令和8年度 第3学年 進路指導年間計画(保護者配布用)

さいたま市立城北中学校

	主な行事予定	テスト・受検(験)手続き関係	保護者会・面談	生徒の活動		保護者の活動
				進路関係	学習関係	
4月	8 始業式・入学式 24 離任式	20 全国学力状況調査		将来の自分の姿を思い浮かべ、中学校卒業後の自分の進路について考えてみよう!! ・「進路」についての関心を持ち、将来の自分を思い浮かべてみよう。 ・自分の進路が決定するまでの細かな流れを確認しよう。 ・学習内容、進学状況、通学距離・方法、部活動など、自分にとってどのような点を重視して高等学校を選択するかを保護者と相談しながら考えよう。 ・高等学校案内などを用いて、自分の興味のある高等学校を選択し、資料などを取り寄せたり、情報を集めよう。 ・面接や受検(験)時に備え、常日頃から、話し方や振る舞い方を身に付けよう。	家庭学習の習慣確立 ・授業を大事にし、家庭学習を習慣化しよう。 ・1、2年の範囲の復習に取り組もう。 ・わからなければわかるまで戻って取り組もう。 ・定期テストは出題範囲を早めから確かめ、充分学習しよう。 ・定期テストの結果から、自分の弱点を見つけ、進路の目標・夏休みの学習に役立てよう。	・この1年の目標、また、進路について、お子様と話し合う機会をもつ。 ・学習に集中できる環境づくりをする。 ・進路選択をする際に重視する基準をお子様と話し合う機会をもつ。 ・お子様とともに上級学校・受検(験)情報について理解を深める。
5月	21 体育祭		22 保護者会(修学旅行事前説明会)			
6月	5/30～6/5 学校総合体育大会 9 生徒総会	18・19 期末テスト				
7月	6/29～7/1 修学旅行 17 終業式	第1回進路希望調査 実施	3 第1回進路保護者会 21～ 第1回三者面談	実際に高校説明会や高校見学へ足を運び、自分の目や耳で、高校の雰囲気などを確かめてみよう!! ・進路保護者会に参加し、進路選択の考え方・流れ・選び方・高等学校の種類・入試制度などを確認しよう。 ・進路希望を確認しよう。高等学校の説明会や体験入学の予定を、自分で確認しよう。 ・興味・関心をもった高等学校の説明会や体験入学に参加し自分の希望に合うかを確認しよう。 ・夏休み中に参加した説明会や体験入学に実際、参加したこと、感じることができたこと・実際に足を運んだことでわかったことなどを報告書にまとめ、自分の進路希望を具体的に考えてみよう。	・1学期の学習を振り返って、自らの学習に対する姿勢・取り組みなどを自己分析してみよう。 自己分析・弱点の克服 ・まとまった学習の時間が取れるのは夏休みだけです。1・2年生の復習はこの期間に終わらせることができるようにしましょう。 ・特に苦手教科は重点的に復習を行い、苦手意識を少しでもなくせるように努力しよう。	・夏休み中の生活のリズムを考え、お子様が計画的に生活や学習ができるようにする。 ・高等学校説明会にお子様とともに参加し、正しい情報を集める。 ・お子様とともに私立高等学校の個別相談へ参加する計画を立て、参加する。
8月	26 始業式	(夏休み明け課題テスト)	・調査書記載事項の確認(成績・出欠・表彰・資格等) ・学校説明会参加計画の確認 ・志望校の確認 など		基礎の確認・見直し ・基本的な問題をもう一度解き直しを行うことで、重要事項の再確認をしよう。	
9月	10 プラネタリウム教室 21 合唱コンクール	24 第1回市学力テスト			結果確認・学習内容の見直し ・実力テスト、北辰テストの結果、三者面談での保護者・先生のアドバイス等を参考にし、学習内容の見直しをしよう。 ・これまでの学習の成果を知ろう。この時点での弱点を見つけ、弱点克服を目指そう。	
10月	9 中間テスト 20 市駅伝競走大会 29 つばみの日 30 合唱コンクール	第2回進路希望調査 実施	中旬～下旬 第2回進路保護者会	個別相談会などの機会を通じ、どの公立・私立高校を受験するかを各家庭で相談し、志望校を決定しよう!! ・受験を考えている私立高等学校に、保護者同伴で行き、1学期の評定や北辰テストの結果などから、受験すべきかどうか、どのように受験すべきかを相談しよう。		・お子様とともにそれぞれの進路決定までの流れを確認する。 ・個別相談をもとに希望する進路を絞りこむためにお子様と話し合う機会をもつ。

	主な行事予定	テスト・受検(験)手続き関係	保護者会・面談	生徒の活動		保護者の活動
				進路関係	学習関係	
11月		4 第2回市学力テスト 19・20 期末テスト 中旬 私立高等学校調査書交付願 配布 中旬 私立高等学校調査書作成願 配布 ⇒第3回三者面談時に提出	9～13 第2回三者面談 ・受検(験)校(私立・公立)の検討 ・相談会等の内容確認 ・資格等の確認 など	・受検(験)方法を決めよう。私立高等学校、公立高等学校、それぞれの志望校を考え、自分が入試当日に受検(験)する学校を決定しよう。 ・私立高等学校受験校を決定する。成績等を確認し、公立受験校をしばらく始める。	基礎の定着&応用力向上 ～冬休みは実力アップ 最後のチャンス～ ・実力テスト、北辰テストの結果、三者面談での保護者・先生のアドバイス等を参考にし、学習内容の見直しをしよう。 ・冬休み中は、私立高等学校受検(験)に向け、過去問題に取り組み、出題傾向を知り、対策を練ろう。	・三者面談の内容を参考に希望する学校を絞り込むため、お子様と話し合う機会をもつ。 ・お子様とよく相談の上、進路希望先を決定させる。 ・出願書類や手続きを確認し、間違いないようにする。 ・受検(験)に向けた生活環境をつくる。
12月	24 終業式	24・25 通知書配布 私立高等学校出願準備	7～11 第3回三者面談 ・受検(験)校の決定(私立・公立) ・受験方法、出願方法等の確認 など	入試当日に向けて、高校を受験するための準備を完璧に済ませておこう!! ・私立高等学校出願に備え、願書提出までの流れを確認し、提出書類を作成しよう。 ・私立高等学校に行き願書を購入する。きちんと自分の字で清書しよう。		
1月	7 始業式 8 第3回市学力テスト 第3回進路希望調査 実施 22～24 私立高等学校入試中心日	調査書配布 私立高等学校出願 22～24 私立高等学校入試中心日 下旬 県公立高等学校出願準備	1/27～1/29 第4回三者面談(希望者のみ)	・出願方法を自分で確認し、願書締め切り日までに確実に願書を提出しよう。 ・当日までに、最高の準備を行い、当日の入試に臨もう。 ・三者面談等で、保護者・担任等と相談をし、自分が受検する公立高等学校を決定しよう。	それぞれの志望校へ向け ラストスパート!! ～後悔のないように全力で取り組もう～ ・私立・公立高等学校受検(験)に向けて、実際に時間を計り、入試本番を意識したペース配分をつかもう。 ・今まで勉強してきた教科書や問題集を再度やり直し、今まで自分が覚えてきたことを確実に定着させよう。 ・最高の状態で入試本番を迎えることができるように、体調管理の徹底をしよう。	・出願書類や手続きを確認し、間違いないようにする。 ・試験前は落ち着いて生活できるようにする。
2月		私立高等学校入学許可候補者発表 4・5 学年末テスト 1/26～2/9 県公立高等学校出願期間 12 県公立高等学校出願(配達指定日) 17・18 県公立高等学校志願先変更 25 県公立高等学校入試(学力検査) 26 県公立高等学校入試(面接・特色検査)	・受検校の決定(公立) ・進路先の検討(私立の可否による) など	・公立高等学校の願書の作成方法や願書提出方法などを確認し、自分で願書を清書しよう。 ・指定された日に、自分で公立高等学校に行き、出願しよう。 ・当日までに、最高の準備を行い、当日の入試に臨もう。		・私立高入試の結果に応じて手続きを済ませる。 ・出願書類や手続きを確認し、間違いないようにする。
3月	15 卒業証書授与式	5 県公立高等学校入学許可候補者発表 16 県公立高等学校欠員補充		・発表は自分で見に行き、手続きを確認しよう。入試手続きで、間違いないように、必ず書類をよく読み、手続きを速やかに行いましょう。 ・結果によっては、公立高等学校欠員補充の手続き等があるので確認しよう。	自分のことを支えてくれた、すべての人に感謝の気持ちを持って、入試に全力で取り組もう!! 次のステージへ進むための準備をしつかりと行いましょう!!	・入学手続きについて、家族で書類をよく読み、間違いないように、手続きを進める。 ・卒業後、希望をもって新しい生活が送れるようにする。